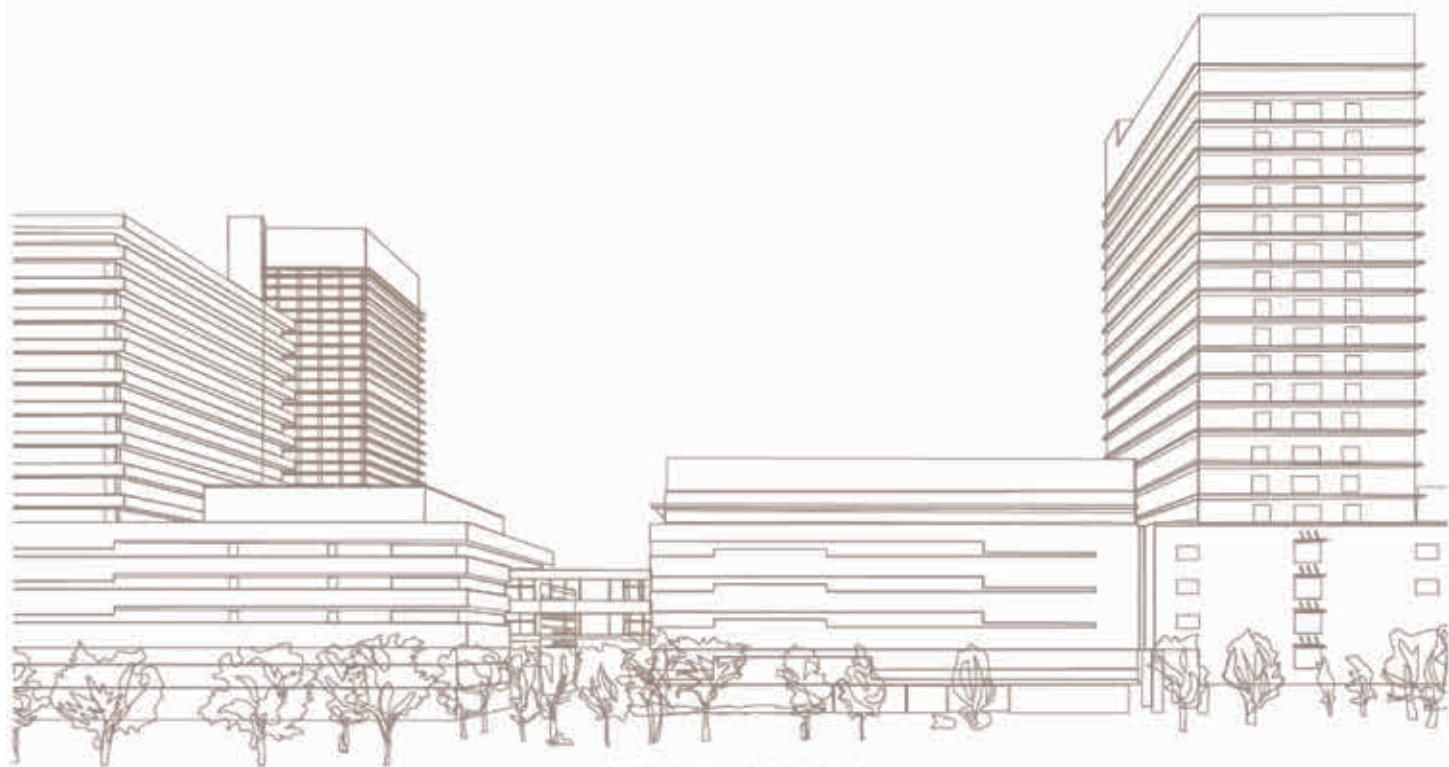


JIKEI RECRUIT



学校法人 慈恵大学

病気を診ずして病人を診よ



学祖 高木 兼寛

学祖・高木兼寛（1849～1920）は、英国のセント・トーマス病院医学校に留学した際に、人道主義に基づく英国医学に深い感銘を受け、帰国後、病に悩む人を中心に考える学風の医学校、病院、看護学校を次々に創設しました。

人を慈しみ恵む心を忘れず、人間愛に根ざす医療の確立。

それは、本学の建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」によって端的に表現されています。

この思いは、医師や看護師をはじめとする全てのスタッフに、広く浸透していることは言うまでもありません。

まず患者さんのことを第一義に考える医療の実践に向けて、慈恵スタッフは邁進しています。

慈恵医大の沿革

- 1881 成医会発足 成医会講習所設立
- 1882 有志共立東京病院を開院
- 1885 日本初の看護婦教育所を付設
- 1887 皇后陛下より「慈恵」の名を賜り「東京慈恵医院」と改称
- 1903 専門学校令により私立東京慈恵医院医学専門学校へ改称
- 1922 附属病院（本院）開院
- 1946 附属東京病院分院青戸病院 開院
- 1950 附属第三病院 開院
- 1987 附属柏病院 開院
- 1994 附属病院（本院）が特定機能病院として承認
- 2002 慈恵医大晴海トリトンクリニック 開設
- 2007 附属第三病院に森田療法センター開設
- 2012 附属青戸病院が葛飾医療センターとして開院
- 2019 附属病院（本院）新橋健診センターリニューアルオープン
- 2020 附属病院（本院）新外来棟・母子医療センター開設

慈恵大学行動憲章

1. 全人的な医療を実践できる医療人の育成を目指します。
2. 安全性に十分配慮した医療を提供し、社会の信頼に応えます。
3. 規則を守り、医の倫理に配慮して研究を推進し、医学と医療の発展に貢献します。
4. グローバルな視野に立ち、人類の健康と福祉に貢献します。
5. 情報を積極的に開示して、社会とのコミュニケーションに努めます。
6. 環境問題に十分配慮して、教育、診療、研究を推進します。
7. お互いの人格と個性を尊重し、それぞれの能力が十分に発揮できる環境の整備に努めます。

東京慈恵会医科大学附属病院

病院の理念

「病気を診ずして病人を診よ」の教えに基づき、質の高い医療を実践し、医療人を育成することにより、社会に貢献し、患者さんや家族から信頼される病院をめざす。

病院の基本方針

1. 患者さんや家族が満足する良質な医療を実践する。
2. 先進医療の開発・導入など、日々、医療水準の向上に努める。
3. 優れた技能を身につけ、豊かな人間性と倫理観を兼ね備えた医療人を育成する。
4. 地域社会と連携し、きめ細かな医療サービスを提供する。
5. 全職員が誇りをもって働ける職場づくりを実践する。



理事長メッセージ



学校法人慈恵大学
理事長 栗原 敏

喜びを実感できる職場で 働きませんか

日本は稀にみる高齢社会になり、国は医療と介護の一体的取り組みを進めようとしています。また、医学・医療は日進月歩で、遺伝子情報に基づいたゲノム医療やiPS細胞を用いた再生医療などによる難病の治療法の開発が進められています。しかし、医療費は年々増え続け日本の財政を圧迫しており、医学・医療の在り方が社会問題になっています。

学祖・高木兼寛は、鹿児島藩の医学校でアイルランド出身のウィリアム・ウィリスと出会い、患者さんを良く診る英国医学に出会い感銘を受けました。ウィリスの勧めで英国に留学し、帰国してから、本学の前身である成医会講習所を開設して(1881年)、患者さんを良く診る医師の育成を始めました。

それに続いて、貧しい人も医療を受けられる施療病院(有志共立東京病院)を開院しました。また、英国留学中に、医療の現場では看護教育を受けた看護婦が医師と共に治療にあっているのを目の当たりにして、看護婦の教育が必要であることを実感しました。帰国後、看護婦教育所を開設し(1885年)、看護婦の育成に努めました。このように本学は、“病める人を良く診(看)て寄り添い、より良い医療を患者さんに提供する”という学祖の理念を継承してきた、歴史ある私立医科大学です。

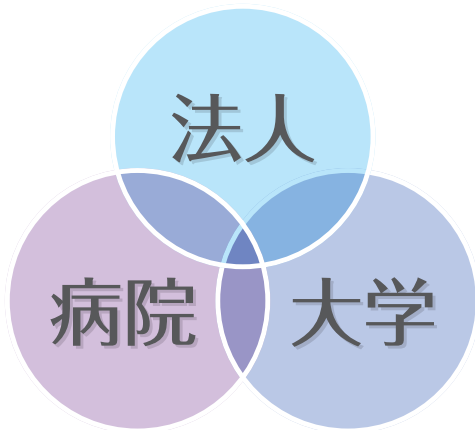
本学、東京慈恵会医科大学(医学部医学科、看護学科)、看護専門学校(慈恵第三看護専門学校、慈恵柏看護専門学校)、それに、より良い医療を提供し、医師や看護師を育成するために、4附属病院を設置しています(本院、葛飾医療センター、第三病院、柏病院)。学校法人の各職場では、病気を診るのではなく、病を抱えている人を全人的に診よという高木兼寛の理念のもとに、人と人との和を大切にして、喜びをもって働けるように配慮しています。

また、患者さんに安全・安心の医療を提供する病院と教職員の働きやすい職場環境を目指し、今後も様々な建築計画を進めてまいります。

本学は、今日に至るまで、関東大震災、第二次世界大戦、リーマンショックなど、大きな社会環境の変化に柔軟に対応して、堅実に運営されてきました。医師や看護師・保健師を育成し、また、医学研究を振興することによって、医療・医学に貢献している慈恵大学は、有能な人材を求めています。

慈恵大学で働く中で、皆さん自身が成長し、医療・医学を通して社会貢献できる喜びを実感できるに違いありません。慈恵大学は創立の理念に共感する意欲ある方を待っています。

大学・附属病院紹介



すべては患者さんのために

医師・看護師の「教育・養成」、最先端の「医学研究」、各附属病院における患者さんの「診療」、この3つの事業を柱とし多くの部署を有しています。

医師、看護師、コメディカル、事務職など30をこえる職種があり、それぞれの仕事内容は異なりますが、“患者さんが最適の環境で医療を受けられるように”と考える点では1本の線につながっており、建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」はスタッフ一人ひとりの心に受け継がれています。

円滑なコミュニケーションをはかることにより、有機的に絡み合い最大限の組織力を発揮しています。

東京慈恵会医科大学



医学部看護学科

患者さんを全人的に診る医療者育成をめざして

■ 医学科・看護学科

【西新橋キャンパス・国領キャンパス】

「医師と看護婦（師）は車の両輪の如し」という学祖の考えと建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」を大切に、人間性豊かで優れた医療・看護を実践できる医療者を140年にわたり育成し続けています。

■ 看護学専攻修士課程

働く看護職者を対象に、良き医療人のひとりとして看護学の質の向上に貢献できる人材を育成する「看護学専攻修士課程」があります。卒業後には、専門看護師・看護教員・研究者への道が開かれています。

■ 教育センター

教育研究水準のさらなる高度化、大学運営基盤の強化等を目指しています。

- 戦略的大学連携支援事業及び大学教育
- 学生支援推進事業大学教育推進
- 総合医科学研究センターを中心とした新たな研究



国領キャンパス



常に最高水準の医療を提供する

病床数 / 1,075 床
 診療科目数 / 40 科目
 外来患者数 / 約 2,800 名 (1 日平均)
 教職員数 / 約 2,600 名

最先端の医療技術とサービスを取り入れ、特定機能病院として高度な医療と全診療科における 24 時間体制の救急医療を提供しています。患者さん本位の医療環境体制を構築し、全国より来院される患者さんの満足度の向上に努めています。



地域と共生し進化・創造し続ける病院を目指す

病床数 / 371 床
 診療科目数 / 26 科目
 外来患者数 / 約 1,100 名 (1 日平均)
 教職員数 / 約 780 名

約 8 割の患者さんが葛飾区内から来院する地域密着型病院です。地域の中核病院としての役割と責任は大きく、総合医療体制、救急診療体制を強化し本院や近隣の医療機関との医療連携を推進しています。住み慣れた地域での生活を支援できる病院を目指しています。



シームレスな医療をもとに地域社会に貢献し、機動性と機能性の高い基幹病院を目指す

病床数 / 581 床
 診療科目数 / 25 科目
 外来患者数 / 約 1,400 名 (1 日平均)
 教職員数 / 約 1,000 名

地域医療支援病院及び急性期病院として、近隣の医療機関や医師会と連携し、狛江市、調布市、世田谷区等から多くの患者さんを受け入れています。高度急性期から在宅医療へと切れ目のない質の高い医療の提供体制を築き、安全かつ適確な診療を通じて、患者さん・家族の持つ不安や悩みを包括的に解決できる病院を目指しています。現在、新第三病院リニューアルプロジェクトを進めており、2026年1月に新本館をオープンする予定です。



地域に根ざした先進的医療と患者さんの立場に立った医療を提供をする

病床数 / 664 床
 診療科目数 / 27 科目
 外来患者数 / 約 1,500 名 (1 日平均)
 教職員数 / 約 1,200 名

都心に近い千葉県東葛北部地域において医療全体の役割を担っており、24 時間断らない救急医療を目指しています。また、急性期医療の大学病院として高度な医療を提供すると共に、患者さんがスムーズに診療・検査・入院ができるようにコーディネートを行い、地域循環型・地域完結型医療を実践しています。

病院業務・職種紹介

※パンフレット掲載の写真は2019年以前に撮影したものを含まず

30を超える職種のスタッフたちが患者さんのためにベストをつくしています

私達は次のようなチーム医療を推進しています。

- 全ての職種がベストな医療を提供すること
- お互いが平等な立場でコミュニケーションをとること
- 協力して患者さんに最良・最適な医療サービスを提供すること

■ 事務員（管理課）



病院の管理・運営を支える多岐にわたる業務を行います

- 医療法、保険法に係る官公庁への許認可、届出書類作成（開設許可関係、施設基準届出関係）
 - 地域がん診療連携拠点病院、東京都総合周産期母子医療センター、東京都アレルギー疾患医療拠点病院等の事務局業務
 - 各種補助金申請、行政からの調査依頼に対する回答作成
 - 病院の広報業務
 - 医療訴訟の対応
 - 高度先進医療、臨床研究の推進など
- ※葛飾・第三・柏については、総務・人事・財務など病院の管理・運営に関する業務を行います。

院内の運用や手続きに関する問合せが多く、誤った情報を伝えないように内容に応じて行政に確認するなど、情報収集に努めています。



■ 事務員（業務課）



患者さんへのサービス・保険請求を行います

- 初診受付、外来会計、各科受付
- 入院・退院の手続き
- 総合案内
- 診療報酬請求明細書の請求
- 診療報酬改定の対応
- 保険医への教育・指導
- 診療録の保管・管理
- 医師の事務作業をサポート

常に笑顔で患者さんをお迎えし、院内の他職種の方々に対すときも同様に心がけています。患者さんに満足していただけるサービスを提供するためには、スタッフ同士の良好なコミュニケーションがとても重要であると思っています。



■ 医療ソーシャルワーカー

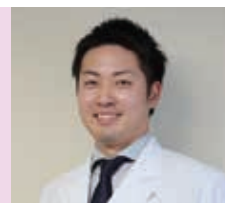


患者さんやご家族の身近な存在でいられるよう心がけています

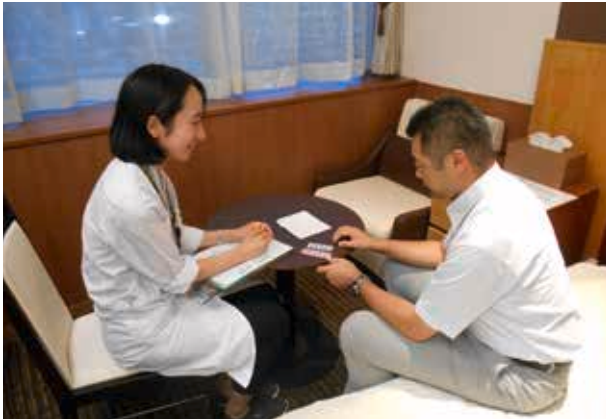
患者さんやご家族のお力になれるよう下記のような相談に対して問題解決のお手伝いをしています。

- 医療費の支払いや今後の生活費など、経済的な不安があるとき
- 転院先や施設を探したいが、どのようにしたらよいかわからないとき
- 出産や子育てに不安、サポートが必要なとき
- 身体に障害が残り、今後どのように生活したらよいかわからないとき

院内唯一の福祉職として、患者さんに寄り添い、「より良い生活」を一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。クライアントファーストの支援を日々心掛けています。



■ 薬剤師



医薬品の供給・管理、薬物療法の向上を支えています

- 処方箋調剤、注射薬の個人別セット供給
- 注射薬の無菌調製
- 入院患者に対する病棟薬剤業務
- 医薬品情報の収集・評価・提供

がん化学療法、感染制御、栄養管理、緩和ケア、糖尿病治療などの業務においてスタッフ間での情報共有を行いながらチーム医療を実践しています。

入院患者さんの薬の使用記録、カルテ、看護記録、検査値などから症状を把握して、薬の効果、使い方、注意点などをお伝えしています。また、安全で効果的な薬物療法を行なうために、医療スタッフと綿密な連携をとっています。



■ 臨床工学技士



医療機器の専門家として、進化・挑戦し続ける組織を目指します

- 医療機器の機種選定から廃棄までの包括的機器管理と保守点検業務
- 血液浄化療法全般と在宅血液透析療法
- ICU常駐体制による速やかな生命維持管理装置への対応
- 小児周産期医療への体制強化
- 人工心肺、手術支援ロボット、神経モニタリング対応の他、心カテ業務

その他、TeamSTEEPS を活用したノンテクニカルスキルの向上を図り、安全な医療を目指しています。

わたし達は“あつかう機器とあずかる生命”をスローガンに、医療機器と患者さんの架け橋となることを目標としています。その中で、患者安全を第一に考え、患者さんの不安を和らげることや質の高い医療を提供する努力をしています。



診療放射線技師



医療被ばく低減に努めるなど安全第一な医療の提供を心掛けています

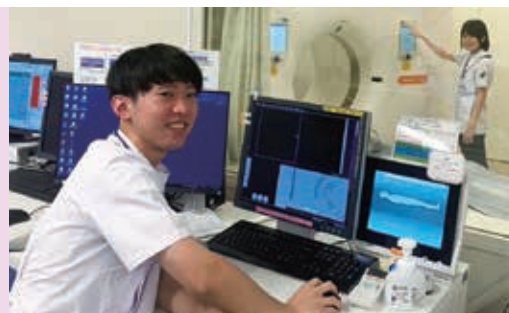
- 一般撮影、マンモグラフィ、透視、CT、MRI、超音波、血管撮影の画像診断検査及び IVR
- SPECT、PET の核医学検査および専門病棟での核医学治療
- トモセラピーや RALS / CT による高精度な IGBT が可能な放射線治療

最先端の画像診療機器を用いて被ばく低減など医療安全にも配慮し検査を行っています。

画像診断・治療における専門性、技術向上のため教育・研究が強化された職場環境を構築し、チーム医療に貢献できる人材育成に努めています。

病気の早期診断、早期治療の一助となるよう、診断に有用な画像の撮影や処理を心掛けています。

また医療安全に配慮し、患者さんの不安や疑問を払拭できるよう寄り添い、最善で安全な医療の提供を心掛けています。



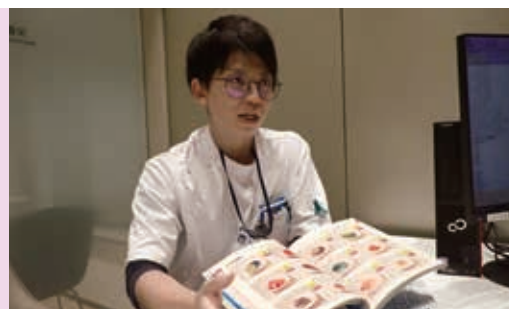
栄養士・調理師



食の立場から患者さんの1日も早い回復に寄与します

- 「臨床栄養管理」と「給食経営管理」の両面から、患者さんの病気の治癒・回復に努めています。
- 各病棟に担当管理栄養士を配置し、栄養管理および栄養食事指導を行い、患者さんの早期回復に努めています。
- NST（Nutrition Support Team・栄養サポートチーム）や、緩和ケア、褥瘡、摂食嚥下などの専門チームにも参加し栄養管理を行っています。

栄養食事指導では、患者さんが食習慣を見直すことについて、ストレスを感じることがないように留意しています。また、食事療法を前向きに取り組むことができるよう、実践可能な方法を患者さんと一緒に導き出すことを心掛けています。



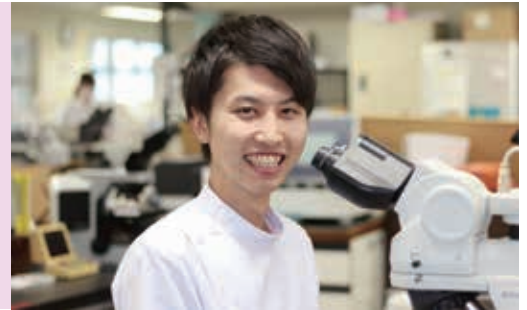
臨床検査技師



医師が適切な診断・治療ができるように、迅速かつ正確な臨床検査データを提供しています

生理機能検査として心電図・超音波検査、呼吸機能・睡眠時無呼吸検査、脳波・筋電図検査、検体検査として生化学、免疫血清、血液、尿、細菌、染色体・遺伝子、輸血検査、造血幹細胞や自己血の採取・保存管理、病理組織、細胞診検査などを行なっています。

医療を取り巻く環境は変化し続けており、チーム医療の一員である私たち臨床検査技師も様々な検査に対応できるよう日々研鑽に励んでいます。また、患者さん目線の思いやりのある接遇を心がけて業務に取り組んでいます。



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士



臨床データに基づく安全で質の高いリハビリテーションを提供しています

対象疾患は、脳血管障害、脳外傷、脊椎損傷、神経筋疾患、呼吸循環器疾患、整形外科疾患、小児疾患など多岐にわたります。私たちは、一日も早い社会復帰を目標に掲げ、障害のみにとらわれるのではなく、患者さんに寄り添いながら持っている能力を最大限に引き出すことに主眼を置いています。

慈恵医大には、リハビリテーション科医をはじめ、院内全ての職種と協力する体制があります。

私は作業療法士としての専門性が発揮できるよう、4病院の垣根を超えて理学療法士や言語聴覚士の仲間と日々研鑽に努めています。

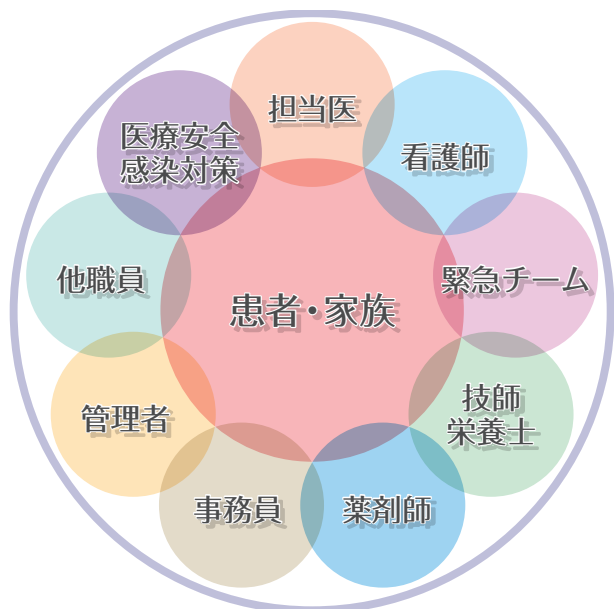


その他の専門スタッフ

- 看護師 ●歯科衛生士 ●視能訓練士 ●保育士 ●看護補助員 ●研究補助員
- 診療技術員 ●研究技術員 ●臨床心理士 ●司書 ●営繕員 ●調理員 など

より安全な医療の提供のために

安全管理の一貫として「医療安全」と「感染対策」に対し、多職種からなるメンバーで組織横断的に取り組んでいます。教職員一人ひとりの安全意識の向上と共に患者さんを含めたチーム医療の推進のために支援をしています。



医療安全

医療安全管理に関する情報の収集・分析、医療事故事例の対応支援、再発防止策の立案、対策の実践状況の調査、組織横断的な安全推進等についての中心的役割を担っています。

またチームワークを高めるために TeamSTEPS[®] の手法を取り入れ、患者さんとのパートナーシップを大切にし、全ての教職員がチーム医療を意識して更なる医療の安全と質の向上に繋がる為の周知活動を行っています。

感染対策

感染症事例の報告があった時点で速やかに ICT (感染対策部) が現場へ出向き、対策の指導を行い感染拡大の防止に努めています。

ICT ラウンドを実施し、現場とディスカッションを行い、必要な対策・治療が行えるように介入しています。

主な業務 (一部紹介)

■ 研修会



チーム医療を学ぶ研修会を開催しています。

医療現場を多職種で確認し、安全な環境作りのサポートを行っています。

■ 院内ラウンド



■ 研修会



医療安全・感染対策に関する全職員（委託派遣含む）向けの研修会を開催しています。

■ 各種会議



院内で発生したもしくは発生しそうなアクシデント等の原因究明や対策について検討しています。

教育制度について

30種類以上の職種のスタッフがより円滑な連携をとるためにはどうすれば良いか。

様々なテーマを基に、職員相互の交流を図りながら体系立てられた研修制度によって、職業人としての基本からリーダーシップ・マネジメント能力など、段階に応じた研修が用意されています。研修の内容は、めまぐるしく変化する社会状況に対応するため、必要に応じて見直されています。また、全教職員を対象とした講演会なども実施しています。

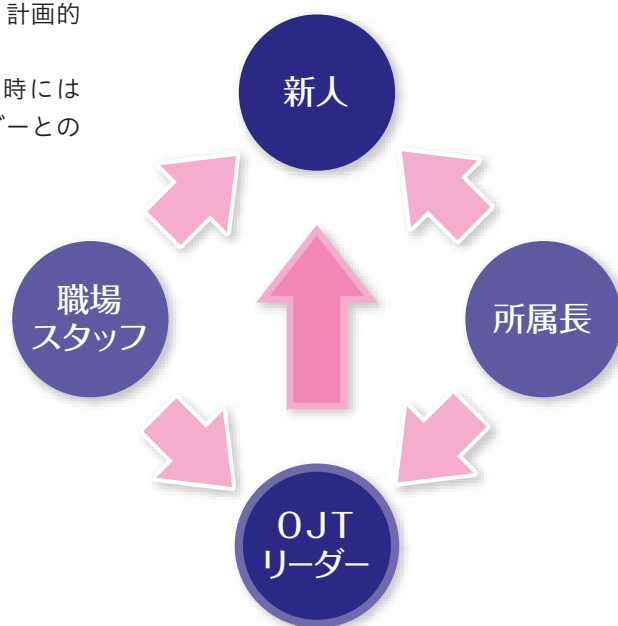
等級	職級	役割	求める能力
8等級以上	管理職員	部門や大学の方針に基づき、運営計画を企画・立案し、適切に遂行する	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学経営及び社会情勢全般に関する見識 ● 将来を見通す総合的判断力 ● 幹部職員としての統率力
7等級 6等級 5等級 4等級	監督職員	課の方針に基づき、業務を適切に遂行するとともに後輩の指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 企画・立案能力 ● 組織管理力 ● 問題発見力・問題解決力 ● 部下育成力
3等級 2等級 1等級	一般職員	上司の指導に基づき、自分の担当する業務を適切に遂行する	<ul style="list-style-type: none"> ● 誠実で思いやりを持って人と接することができる ● 自ら考え主体的に行動することができる ● 柔軟で創造性豊かなコミュニケーション力

OJTリーダー制度

OJTリーダーを中心に職場全体で新入職員を育成します

新入職員に必要な基本的な知識・スキル等を身につけ慈恵人としてのマインドも培うため、新入職員一人ひとりにOJTリーダーがつき、計画的に日々の業務の中で指導にあたります。

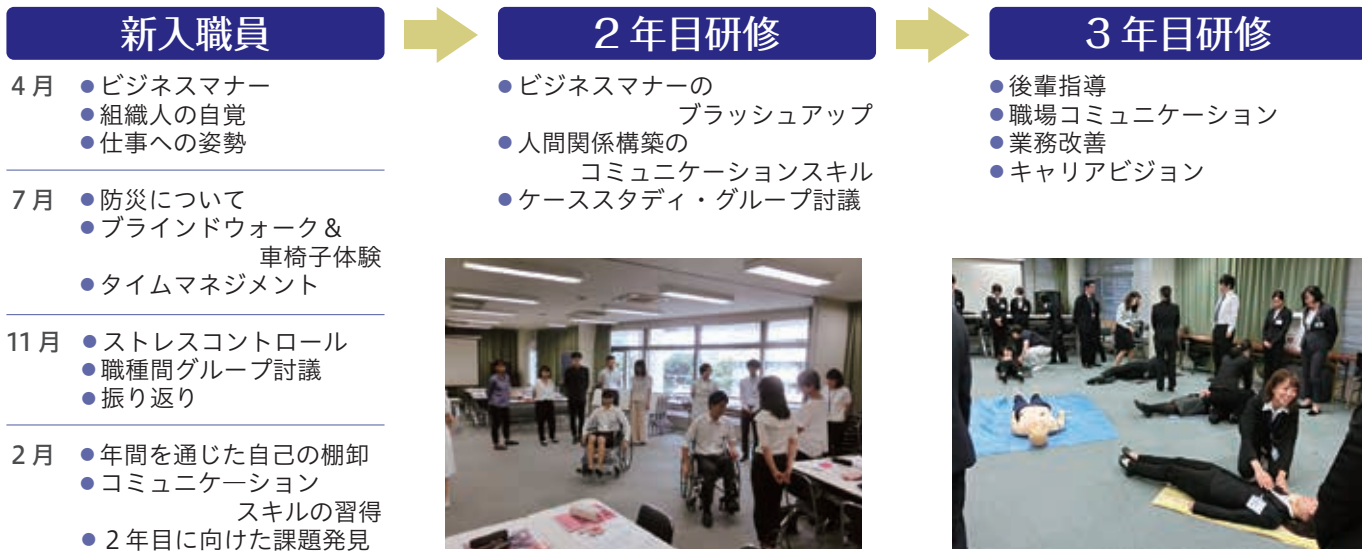
また、所属長や職場のスタッフもOJTリーダーと連携をとり、時には直接新入職員を指導するなど、職場全体で新入職員とOJTリーダーとのマンツーマンの指導・育成環境を支え、成長をサポートします。



※ OJT (On the Job training) とは、職場の中で日常的な業務を遂行しながら、仕事に必要な知識・技能・技術・態度などについて計画的にレベルアップを図っていく教育訓練制度をいいます。

一般職員研修

本学では、入職3年目まで継続した研修を行い、その後も各等級に応じた研修を実施しています。同期の職員が職場や職種を越えて交流しながら話し合い、コミュニケーションを図る機会にもなっています。



※研修内容は一例です

リーダー研修

リーダー研修ではリーダーとしての役割、マネジメント、コミュニケーションなどを講義やグループ討議を通して学びます。各等級に沿った研修を通してスキルアップを図ります。



自己啓発のための各種援助

勤続1年以上の職員が自己啓発のための学習を希望する場合、これを支援するために費用の一部を援助する制度があります。対象となる通信教育講座は100講座以上あり、その中から各自が自分の能力開発に必要とするコースを選択できます。自分の計画に基づき学習することが可能で、自分の将来を見据えて目標に向かってチャレンジすることが可能です。所属長の了解があれば、公開講座も受講できます。

福利厚生

仕事のあとは、心身ともにリフレッシュ！

夏の納涼大会や秋の文化作品展示会などの年間行事の他に、スポーツや文化活動などサークル活動もっており、多くの職員と楽しみながら普段と違うスタッフ同士の親睦を深めることができます。

保養所では、慈恵大学独自に施設と契約しており、利用の際には大学から補助金が還付されます。

その他に本学が加入する日本私立学校振興・共済事業団が契約しているリゾートホテル、東京ディズニーリゾートやフィットネスクラブの利用料金の割引など充実した制度があります。



納涼大会（8月）



（保養所）リゾナーレ



（保養所）伊豆修繕寺・嵯峨沢館

教職員支援プログラム

今までの学生生活とは大きく変わる社会人生活。仕事や人間関係など、新たな生活の中で様々な悩み事が生まれるかもしれません。本学ではそのような悩み事をまわりに知られずに、電話やインターネット、面談などで気軽に相談できる外部 EAP（従業員支援プログラム）提供会社と契約し、職員のメンタル面のサポート体制を整えています。

年間行事

夏 / 納涼大会 秋 / 文化作品展示会
冬 / 病院忘年会・ボウリング大会 他

サークル

- 野球
- 茶道
- 俳画
- サッカー
- 華道
- 絵画 など

福利厚生

● 慈恵大学厚生施設

◇ 契約施設（全国 33 施設）

ニューオータニイン札幌
スパリゾートハワイアンズ
軽井沢プリンスホテル
ホテル水上館
和倉温泉 加賀屋
ヒルトン小田原リゾート & スパ
マホロバマインズ三浦
リゾナーレ
竹林庵みずの
嵯峨沢館
旅館みはま
明治館
下田プリンスホテル
ウェスティン都ホテル京都
アートホテル大阪ベイタワー
シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート
他

● 日本私立学校振興・共済事業団契約の各種施設

◇ 私学事業団直営宿泊施設

箱根・軽井沢・金沢・京都・福岡など
各方面に 16 施設

◇ フィットネスクラブ

コナミスポーツクラブ・セントラルスポーツ・
NAS・ティップネスなど

◇ 東京ディズニーリゾート割引券



Location map

都心からの交通アクセスが良く附属4病院が連携しています。

附属第三病院

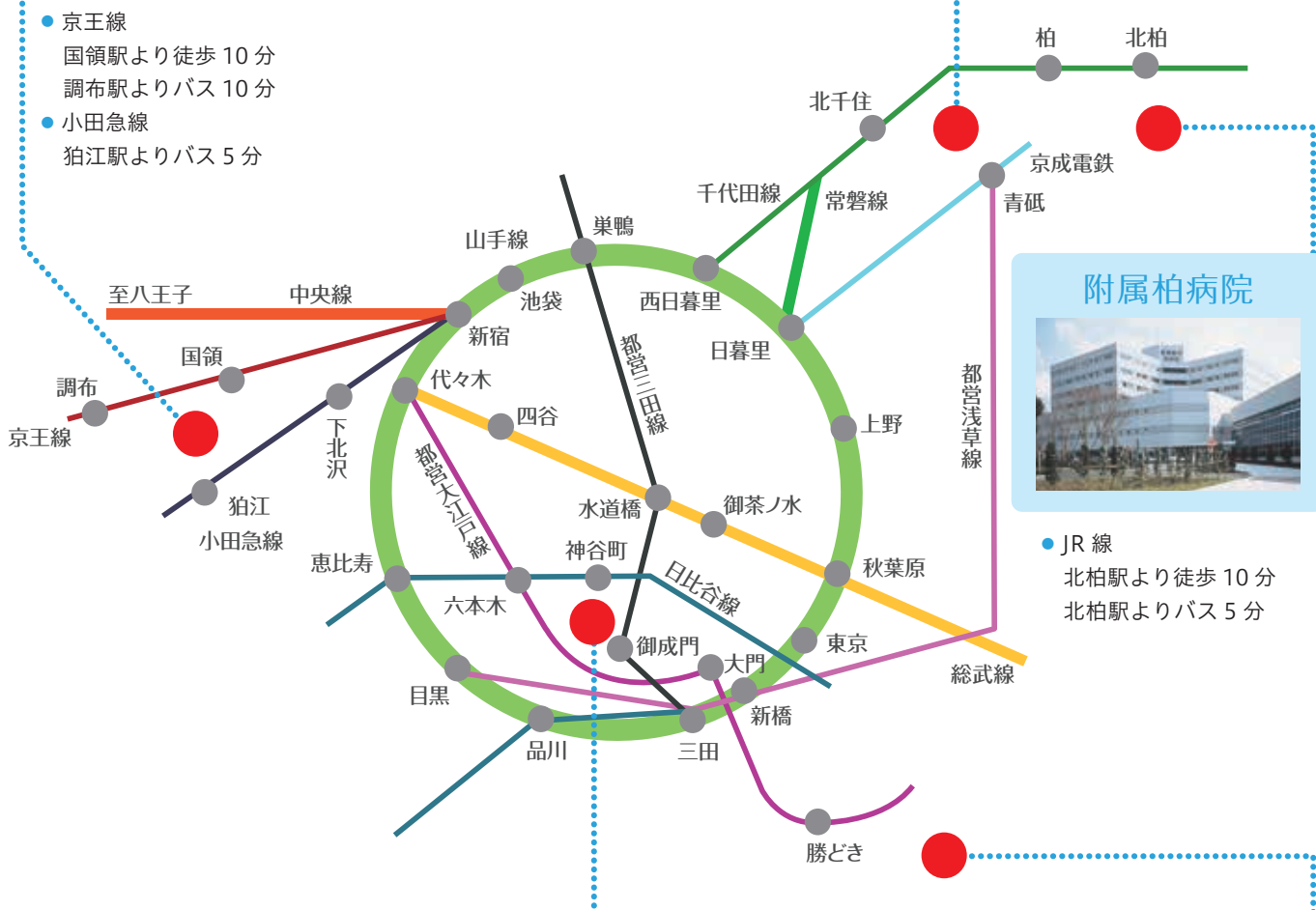


- 京王線
国領駅より徒歩 10分
調布駅よりバス 10分
- 小田急線
狛江駅よりバス 5分

葛飾医療センター



- 京成電鉄
青砥駅より徒歩 10分
青砥駅よりバス 6分
- JR 線
亀有駅よりバス 10分



附属柏病院



- JR 線
北柏駅より徒歩 10分
北柏駅よりバス 5分

附属病院 (本院)



- 都営三田線
御成門駅より徒歩 3分
内幸町駅より徒歩 10分
- 日比谷線
神谷町駅より徒歩 7分
虎ノ門ヒルズ駅より徒歩 9分
- 銀座線
虎ノ門駅より徒歩 10分
- JR 線
新橋駅より徒歩 12分
- 丸の内線・千代田線
霞ヶ関駅より徒歩 13分

慈恵医大 晴海トリトンクリニック

- 都営大江戸線
勝どき駅より徒歩 5分
- 有楽町線・都営大江戸線
月島駅より徒歩 14分



詳細は本学ホームページをご覧ください

お問い合わせ



学校法人慈恵大学 人事課 03-5400-1211 (直通)

附属病院（本院） 東京都港区西新橋 3-19-18
葛飾医療センター 東京都葛飾区青戸 6-41-2
附属第三病院 東京都狛江市和泉本町 4-11-1
附属柏病院 千葉県柏市柏下 163-1